

# Edulution

令和5年度千葉県教育庁教育振興部  
学習指導課ICT教育推進室発行  
GIGAスクール通信 vol.03 (R5.5.11)

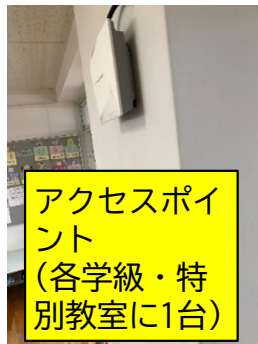
教育 (Education) × 進化 (Evolution) の造語  
「ICT」を効果的に活用することで、  
教育の次なるステップを目指しましょう。

## 愛知県春日井市におけるICTを活用した授業実践



文部科学省の「GIGAスクール構想」の実践例を紹介する「StuDX Style」のHPでも事例提供協力校として紹介されている愛知県春日井市の出川小学校と高森台中学校を視察してきました。出川小学校と高森台中学校は令和4年度から文部科学省から研究開発学校の指定を受け、一人一台端末・クラウド環境の効果的活用や情報活用能力を育成する「情報の時間」の創設に取り組んでいます。取組の様子を紹介します。

### (1) 段階的なICT環境整備



春日井市ではICT環境整備のポイントを「ストレスなく使えること」として、環境の整備を進めたとのことです。電子黒板やプロジェクターを授業毎に設置することは先生方にとって「ストレス」です。低学年の児童が端末を落とさないように使うことは児童にとって「ストレス」で、端末活用の妨げになります。一人一台端末を効果的に活用するためには、環境を整えて、教師も児童生徒もストレスなくGIGA端末を使えるようにすることが大切です。

また、通信スピードは実用に耐える速度の保持が大切だと考え、ネットワーク環境も計画的に整備したとのことです。端末がフリーズしたり、処理が遅延したりすることもやはり大きな「ストレス」になります。教師も児童生徒もいつでも端末が気軽に使える環境があるからこそ、ICT活用が進んでいると感じました。

### (2) 「情報の時間」の創設

目的 1人1台端末やクラウド環境を効果的に活用して情報活用能力を育成する。

教科横断的な視点を常に意識した学習活動の在り方

情報活用能力の体系的・系統的な育成のための教育課程

教材の共有、リーダー育成などの指導体制の確立

#### 情報の時間

- ・義務教育の9年間で継続した計画的・継続的な指導
- ・カリキュラムマネジメントにより、各教科の時間から年間35時間確保
- ・各教科において「情報活用能力」育成にあてる時間の整理と創出



### (3)春日井市の1人1台端末(chromebook)の活用



**【Google classroom】**  
**(課題配付機能)**  
 黒板の脇に本日の授業の流れを書く必要はありません。「①本時の課題、②3段階のゴール、③授業の流れ」はGIGA端末に配信されます。



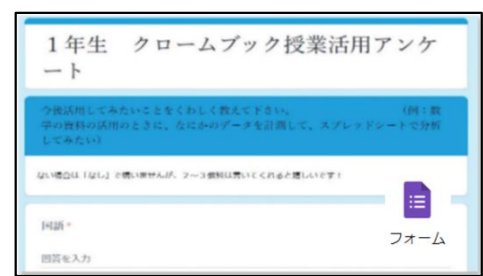
**【Google classroom】**  
**(チャット機能)**  
 教室内は静かですが、チャット上で多くの児童生徒が自分の意見を入力して発表しています。他の人の意見もスクロールすれば確認できます。



**【Jam board】**  
 文章を書く、付箋を貼る、写真や地図を貼り付ける等、自由自在なノートです。  
 人のJam boardも参考にできるし、共有して作業することもできます。

班	探やす有難物	確かめること・方法
1班	布	光一発、影が出ること 方法：暗くして遠慮計を置いておく。
2班	ロウソク	発煙物を燃やして光と影が出ることを調べる 方法：目を閉じて、遠慮計で遠慮を調べる。
3班	紙	光や影が出るか調べる。 方法：紙を燃やして、遠慮計と目視で光と影の出るようなものが出来るか確かめる。
4班	紙	発煙物を燃やして光と影が出ることを調べる。 方法：目を閉じて、遠慮計で遠慮を調べる。
5班	ろうそく	発煙物を燃やして、遠慮計と目視で光と影の出ることを調べる。 方法：ろうそくを燃やして、火のついた遠慮計で遠慮がなくなったことを調べる。
6班	ろうそく	光一発、影が出ること 方法はろうそくを燃やして、ろうそくが燃やした熱が発生している。光は目視で出ているかを確認する。
7班	紙	発煙物を燃やして、遠慮計と目視で光と影の出ることを調べる。 方法：目を閉じて、遠慮計で遠慮を調べる。
8班	ロウソク	遠慮計と目視で光と影の出ることを調べる。 方法：ろうそくを燃やして、遠慮計で遠慮がなくなったことを調べる。
9班	紙	光や影が出るか調べる。方法：紙を燃やして、その中に遠慮計を入れて遠慮を調べる。また光が出るか遠慮計で確かめる。

**【スプレッドシート】**  
 共有されているシートに児童生徒が自分でまとめた意見・考えを入力してきます。  
**【フォーム】**  
 授業後の振り返りはフォームを使えば、入力=集計完了です。



※Google classroomの機能はMicrosoftのTeamsでも同等の作業をすることができます。

### (4)出川小学校と高森台中学校の授業の様子



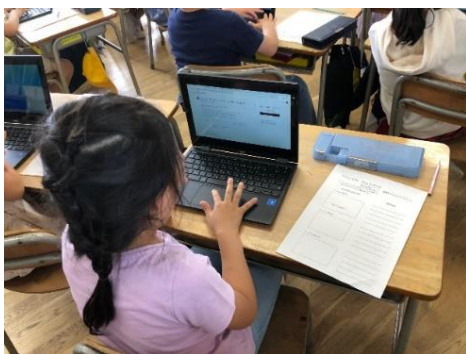
**【中2 理科】**  
 チャットで意見交換、スプレッドシートで共同編集しながら自分の意見をまとめ入力します。



**【中1 社会】**  
 ペア・グループ学習は端末を持参し、対面で画面を見ながら意見交換をする場面もあります。



**【中1 情報】**  
 ノートではなくJamboardに情報をまとめます。紙に鉛筆で書くよりも効率的です。



**【小2 情報】**  
 特に訓練の時間を確保しなくても、小学校低学年で、キーボード入力できています。



**【小3 情報】**  
 チャット機能は4年生から使用するので、意見交換は人が移動して対面で行っています。



**【小6 情報】**  
 インターネットで調べて、Jamboardで意見をまとめます。教師はファシリテーターに徹します。